







平成29年7月-9月期・東員町商工会 中小企業景況調査結果（サービス業）

売上（収入）のD I値は、前年同期比で25.0、前期比も25.0と好調であったが、来期見通しは±0.0と少し減少する見込みである。採算（経常利益）のD I値は、前年同期比が50.0であるが、来期見通しは±0.0とこちらも悪化の兆しが見える。資金繰りのD I値は、前年同期と前期比が±0.0で推移しているが、来期見通しは25.0と改善する見込みである。業況のD I値は、前年同期比で25.0となっているが、前期比は±0.0、来期見通しも±0.0と少し悪化する見込みとなっている。三重県商工会エリア全体と比較してみると、三重県全体のD I値は、売上、業況等全ての項目の実績と来期見通しがマイナスとなっており、東員町商工会エリアの方がかなり良好な状態と言える。

東員町商工会エリア	今期（29年7-9月期）の状況				来期（29年10-12月期）の状況		
	項目	前年同期（28年7-9月期）と比較		前期（29年4-6月期）と比較		前年同期（28年7-9月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（収入）	25.0	増加 快晴	25.0	増加 快晴	±0.00	横ばい 曇り	
採算（経常利益）	50.0	好転 快晴	--		±0.00	横ばい 曇り	
資金繰り	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	25.0	好転 快晴	
業況	25.0	好転 快晴	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	

三重県商工会エリア	今期（29年7-9月期）の状況				来期（29年10-12月期）の状況		
	項目	前年同期（28年7-9月期）と比較		前期（29年4-6月期）と比較		前年同期（28年7-9月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（収入）	-16.0	やや減少 小雨	-20.0	やや減少 小雨	-14.0	やや減少 小雨	
採算（経常利益）	-19.6	やや悪化 小雨	--		-13.7	やや悪化 小雨	
資金繰り	-11.7	やや悪化 小雨	-14.0	やや悪化 小雨	-11.7	やや悪化 小雨	
業況	-17.7	やや悪化 小雨	-13.7	やや悪化 小雨	-17.0	やや悪化 小雨	

各項目の評価については次により表示した。

D・I値※	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
天気図表示	快晴 	晴れ 	曇り 	小雨 	雨 	豪雨 

※D I値は、増加・好転等の割合から減少・悪化等の割合を差し引いた値。

今期直面している経営上の課題については、重要度の高い1位に上がっているのが「利用者ニーズの変化」、「店舗の狭隘・老朽化」、「人件費の増加」、「従業員の確保難」の4項目であり、内容も多岐に及び分散化している。三重県商工会エリア全体と比べると、少し項目にズレがあるものの、「店舗の狭隘・老朽化」、「従業員の確保難」が重要課題として認識されている。中でも「従業員の確保難」は最近は良く課題にあがっておりサービス業における人手不足の実態がうかがえる。なお、上位3項目を集計した表が下にあるが、「材料等仕入単価の上昇」と「従業員の確保難」が上がっている。

重要度1位の項目 (％)

東員町商工会エリア	1位		2位		
1位にあげる問題点	利用者ニーズの変化、店舗の狭隘・老朽化、人件費の増加、従業員の確保難				
前期/今期	--		25.0		
三重県商工会エリア	1位		2位		3位
1位にあげる問題点	需要の停滞		店舗施設の狭隘・老朽化		従業員の確保難
前期/今期	19.1	31.1	10.6	13.3	14.9 11.1

重要度1位～3位の項目の集計

東員町商工会エリア	1位		2位	
1位～3位に上がった問題点	材料等仕入単価の上昇、従業員の確保難		利用者ニーズの変化、店舗施設の狭隘・老朽化、人件費の増加等	
前期/今期	--		50.0	-- 25.0